



第68期

中間事業報告書  
京写レポート

2025年4月1日から2025年9月30日まで

株式会社 京写  
証券コード 6837



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第68期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）における事業の概況をご報告申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長  
児嶋 一登

### 業績の概要

当中間連結会計期間の当社が属するプリント配線板業界は、国内では自動車の生産低迷が続いている、家電製品などの生産は増加したもの、需要は依然として足踏みが見られました。海外はアセアンにおいて緩やかな回復が続きました。一方で、米国の関税政策による世界経済への影響、中国の景気減速、為替変動、地政学リスクによる原材料、エネルギー価格の高止まりなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、自動車関連分野の受注低迷が続いたものの、家電製品やアミューズメント分野の受注の増加により、前年同期を上回りました。実装関連事業は、回復傾向にあるものの、主力の航空機向け在庫調整の影響を受け受注が減少しました。これらの結果、国内の売上高はプリント配線板事業

の増収により前年同期を上回りました。

海外においては、自動車向けは付加価値の高い金属基板の受注は増加するも受注全体が減少し、また事務機分野の受注が減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。これらの結果、連結売上高は12,351百万円（前年同期比3.6%減 457百万円の減収）となりました。

利益面は、国内で自動車関連分野の低迷、金属基板の新規量産立上げに伴う費用増加、原材料及び製造経費等の高騰に対し、継続して販売価格適正化やコスト改善等に取り組んだ結果、営業損失が縮小しました。海外では減収の影響と、インドネシアで増産に向けた設備増強のため稼働調整を行い減益となりました。

これらの結果、営業利益は338百万円（前年同期比49.1%減 326百万円の減益）、経常利益は219百万円（前年同期比51.0%減 228百万円の減益）、親会社株主に帰属する中間純利益は107百万円（前年同期比60.1%減 162百万円の減益）となりました。

### 売上高

12,351百万円

■中間期 ■通期  
(単位:百万円)



### 営業利益

338百万円

■中間期 ■通期  
(単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

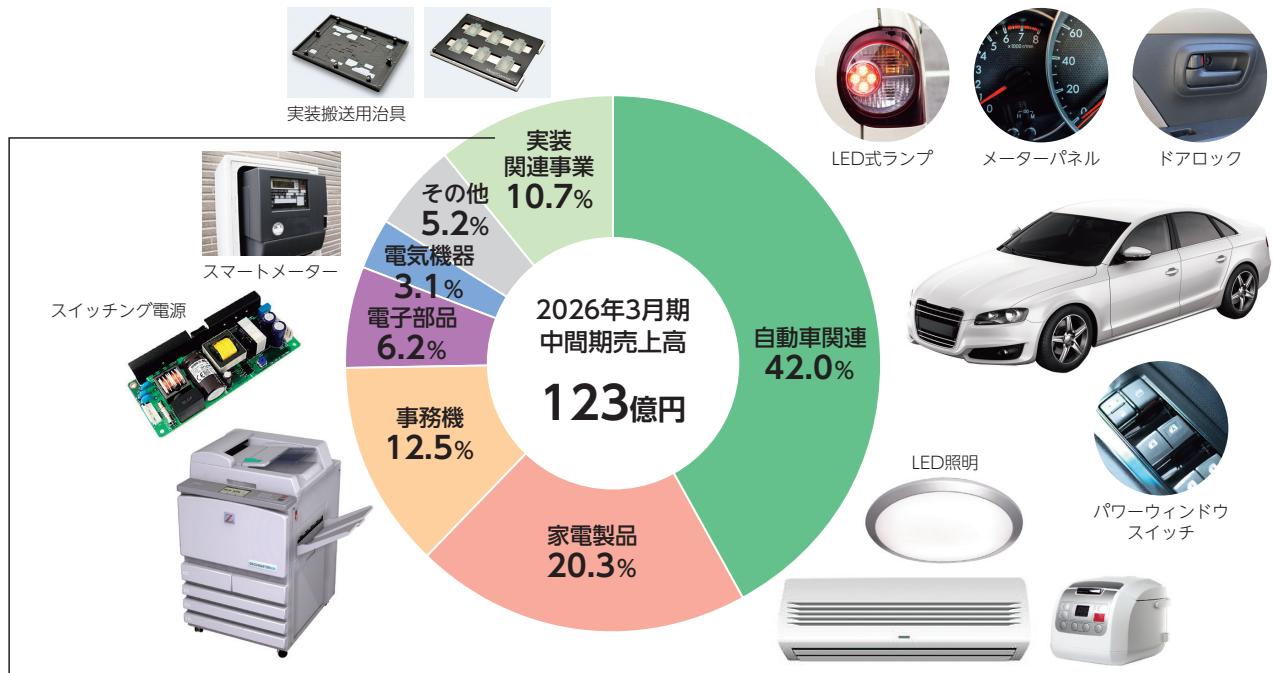
107百万円

■中間期 ■通期  
(単位:百万円)



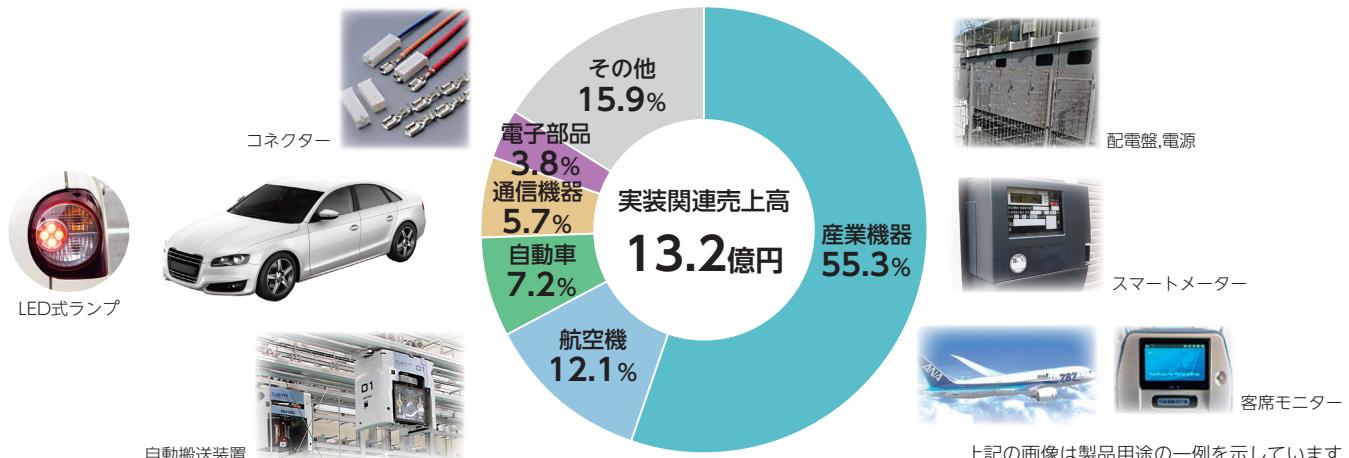
## 連結 用途別壳上

成長分野の自動車関連や環境に配慮した家電製品向けを中心に幅広い用途に製品を供給



## 実装関連事業 用途別売上

主力の航空機向けは低調も産業機器、自動車向け堅調

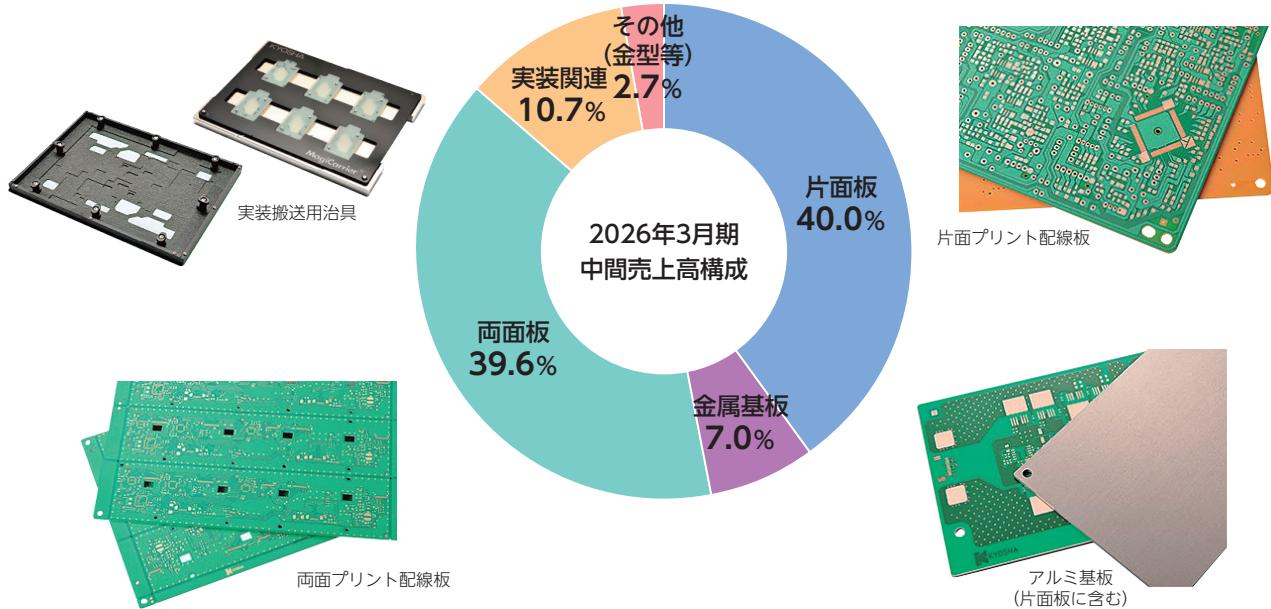


上記の画像は製品用途の一例を示しています

## 主要製品売上高構成

KYOSHA

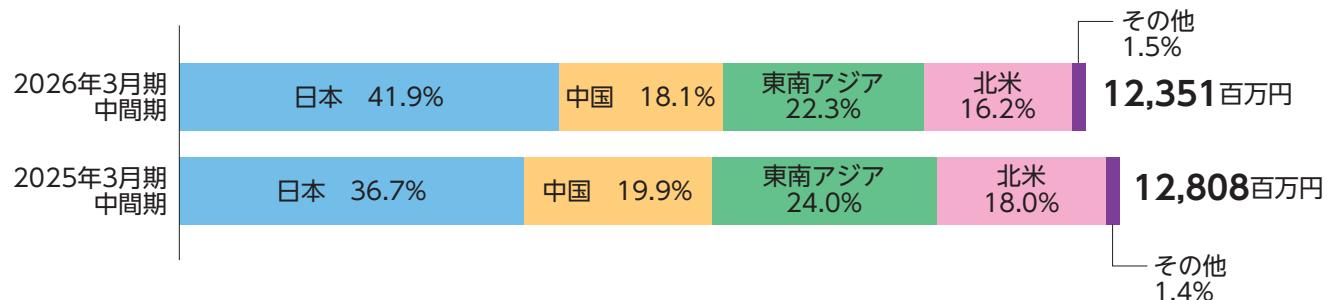
主要製品は片面板、両面板、実装関連の3種類、片面板の一種で高付加価値の金属基板が増加



## 販売地域別売上高構成

KYOSHA

日本売上の増加（海外比率63%→58%）



## 技術 京写インドネシア 新印刷ライン導入 – 旺盛な需要取り込み・顧客対応力の強化

京写インドネシアは、東南アジア最大の片面プリント配線板の生産能力を持ち、1994年の設立以来30年以上にわたり、インドネシア及びASEAN域内に販売を行ってきました。近年、経済安全保障やBCPの観点から車載・家電・事務機メーカー等がASEAN域内に生産拠点を移管する動きが加速し、需要が拡大しています。この需要拡大と高度化する技術要求に応えるため、グループ会社の京写広州の技術支援のもと、最新の印刷ラインと後工程の主要設備の更新を2025年4月～10月に実施しました。

これにより品質は各段に向上し生産性が約20%向上しました。今後もASEAN域内的重要拠点として、顧客対応力を高め事業拡大に注力してまいります。

会社名	京写インドネシア (PT. Kyosha Indonesia)
設立年月日	1994年7月7日
資本金	USD7,000,000
事業内容	片面プリント配線板の製造・販売
投資額	約USD2,500,000



印刷ライン

高圧洗浄機

ガイド穴明け機

## ESG ESG活動のPDCA促進 – サステナビリティ推進

グループのサステナビリティ方針に基づき、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)に配慮した事業活動を推進しています。ESG経営を強化するため、「CSR推進委員会」を「サステナビリティ推進委員会」へ改組しました。「企業の社会的責任」の範囲から、より広範な「社会の持続的発展と企業の成長」の両立へと取り組みを進化させます。今後委員会では、カーボンニュートラルの実現とサプライチェーン等における人権尊重に対する取り組みをグループ一丸となって進めてまいります。

## 【E】環境 三和電子 太陽光発電の拡大 – 持続可能な社会の実現へ

三和電子では地球環境に配慮した取り組みとして、2023年から太陽光発電を導入し、2024年は電力使用量の約13%の34万kwhの発電と177tのCO<sub>2</sub>削減、電力コスト約3百万円の削減により計画を上回る成果となりました。

電力料の高騰もあり、一段のコスト及びCO<sub>2</sub>削減を図るため、2025年5月に第1工場の屋根の残り半面に太陽光パネル756枚を新たに敷設しました。今後は年間電力使用量の約25%の57万kwhの発電と300tのCO<sub>2</sub>削減に努めてまいります。



工場全景

## 会社概要 (2025年9月30日現在)

・社名	株式会社京写
・本社	京都府久世郡久御山町森村東300番地 TEL:075-631-3191 FAX:075-631-7761
・設立	1959年2月14日
・資本金	1,102百万円
・従業員数	1,219名 (連結)、269名 (単体)
・事業内容	プリント配線板の製造及び販売、 実装搬送治具の製造及び販売
・上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード: 6837)
・子会社	
国内	三和電子 (岡山)
海外	中国: 京写香港、京写広州、京写広州貿易 東南アジア: 京写インドネシア、京写ベトナム、 京写タイ、京写マレーシア 北米: 京写ノースアメリカ、京写メキシコ

## 役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役社長	児嶋一登
取締役	児嶋淳平
取締役	平岡俊也
取締役	山口泰司
取締役 (社外)	日比利雄
取締役 (社外・独立)	森清隆
取締役 監査等委員	奥田茂
取締役 監査等委員(社外・独立)	高岡謙次
取締役 監査等委員(社外・独立)	松阿彌初美

## IR情報メール配信のご案内

決算情報やプレスリリース、IRイベントなどの最新情報を電子メールでタイムリーにお届けします。ぜひご登録ください。

## ご登録方法

## ●スマートフォンから

- ①2次元コードから登録画面へアクセス
- ②メール作成画面はこちらをクリック
- ③必要事項を入力しメールを送信



## ●パソコンから

- ①当社ホームページ <https://www.kyosha.co.jp/>  
「お問い合わせ」フォームにアクセス
- ②「ご用件」の「IRに関するお問い合わせ」をクリック
- ③「お問い合わせ内容」に「メール配信サービス希望」を記入
- ④「お客様情報」を入力し送信

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
定期株主総会 6月

剩余金の配当の基準日 期末配当金 每年3月31日  
中間配当金 每年9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.kyosha.co.jp/>) に掲載いたします。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	58,000,000株
発行済株式の総数	14,624,000株
株主数	3,734名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
株式会社児嶋コーポレーション	2,048,000	14.0
児嶋雄二	955,800	6.5
児嶋淳平	525,000	3.6
株式会社エヌビーシー	524,000	3.6
児嶋一登	476,000	3.3
児嶋亨	466,000	3.2
池田朋子	430,000	2.9
株式会社日本カストディ銀行	395,400	2.7
株式会社メイコー	273,600	1.9
株式会社三菱UFJ銀行	260,000	1.8

(注) 当社は、自己株式23,887株を保有しており、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。